

1. 子ども・高齢者により健康な環境づくり施策を

本町の第五次総合計画の取り組みにおいて「こころの健康を維持するため、睡眠や休養の必要性、ストレスに関する正しい知識の普及に努めるとともに、自殺対策やうつ病対策に取り組みます。感染症の流行情報や予防策の情報提供を適切に行うとともに、感染防止や重症化予防のための予防接種を推進します。」と示されている。

町民は新型コロナウイルス禍で、今までに経験したことのないストレスと向き合いながら暮らしている。特に高齢者が新型コロナに感染した場合は重症化し易いといわれ、今後インフルエンザに罹患することでさらに重篤化することも危惧される。また、子ども達は長期休校が続いた影響からストレスを抱えている状況にあるため、心の健康教育の充足も必要である。

以上のことから次の事項を問う。

- ① 高齢者の健康を守る施策として、高齢者のインフルエンザ予防接種の無償化を。
- ② 子どもの定期予防接種については、通院による新型コロナウイルス感染への不安から予防接種を控える動きがあり、小児科医からも懸念の声が上がっている。町は予防接種を控えることがないよう十分な情報発信と定期予防接種の期限延長を認めるべきであると考えるが。
- ③ 小中学校における不安を和らげる教育として、ストレスを学ぶ授業の拡充を。